

平成20年度（2008年度）大学、短期大学及び高等専門学校における
障害のある学生の修学支援に関する実態調査 **（高等専門学校用）**

学校名		
主となる所在地 の都道府県名	記入の仕方：都府県は省略 例) 北海道 → 北海道 東京都 → 東京	
担当部課室名		
担当者名		
連絡先	TEL :	
	FAX :	
	E-mail :	

日本学生支援機構より障害のある学生に対する修学支援に関するイベント等の情報を希望する場合は「1」をご記入下さい。↑

※ご記入いただいた個人情報（担当者名、E-mail）は、本調査の回答に関して個別に確認が必要な場合に利用します。また、本機構の関連事業実施に当たり、必要に応じて、より詳細な情報を収集するため個別に問い合わせる場合に利用することがあります。

注意

- (1) 調査シートは全部で13枚あります。
- (2) 障害のある学生（以下「障害学生」という。）が在籍していない場合でも、ご回答下さい。
- (3) 記入のないシートがあった場合も削除せず、全てのシートをご送付下さい。
- (4) 研究生、科目等履修生、聴講生、及び別科生は対象外ですので、計上しないで下さい。
- (5) 平成20年5月1日現在の数値に基づいてご記入下さい。
- (6) 数値は、半角でご記入下さい。
- (7) 調査票内の※については、別ファイルの「記入上の注意」をご参照下さい。

回答締切日 平成20年12月26日（金）

日本学生支援機構のホームページから様式をダウンロードし、記入後の調査票を
メールまたは郵送にてご送付下さい。

様式ダウンロード用URL：http://www.jasso.go.jp/tokubetsu_shien/chosa08.html

■送付用メールアドレス：**kaitou@jasso.go.jp**

メールのタイトル：〇〇高等専門学校回答（例：青海工業高等専門学校回答）

■郵送先住所：〒135-8630 東京都江東区青海2-79 日本学生支援機構 学生生活部 特別支援課

〈問い合わせ先〉

日本学生支援機構 学生生活部 特別支援課 事業計画係（担当者：石川・木村・渡邊）

住所：〒135-8630 東京都江東区青海2-79 電話：03-5520-6173

E-mail：tokubetsushien@jasso.go.jp

1. 学校全体の学生数等

障害学生の在籍の有無を問わず回答

- (1) 平成20年5月1日現在の学校全体の学生数(障害学生を含む。)をご記入下さい。
 また、内数として、1年次の学生数を「うち1年次」の欄にご記入下さい。
 課程の設置がない場合は、「- (ハイフン)」をご記入下さい。

<1-1>全体学生数

(単位:人)

課程	学校全体の学生数	
		うち1年次
学科生		
専攻科生		
計		

(注) 1年次とは平成20年度の入学者をいいます。

(注) 専攻科
 学校教育法第119条第2項より
 「高等専門学校は、高等専門学校を卒業した者又は文部科学大臣の定めるところにより、これと同等以上の学力があると認められた者に対して、精深な程度において、特別の事項を教授し、その研究を指導することを目的とし、その修業年限は、一年以上とする。」

- (2) 障害学生の在籍状況について、①または②のいずれかに「1」をご記入ください。

<1-2>障害学生在籍状況

障害学生在籍状況		どちらかに「1」
①	上記の課程に障害学生が在籍している	
②	上記のいずれの課程にも障害学生が在籍していない	

→「2. 障害学生数・支援障害学生数」に移動

→「3. 特別措置 受験者数・合格者数・入学者数」に移動

2. 障害学生数・支援障害学生数

障害学生が在籍している場合にのみ回答

ア. 学科生

(1) ①欄に、平成20年5月1日現在の「障害学生数」をご記入下さい。

()には内数として「支援障害学生数」をご記入下さい。

- ・「支援障害学生」とは、学校に本人からの申し出があり、それに対して学校が何らかの支援（例：ノートテイク、手話通訳、点訳、定期試験の配慮等の授業保障。学内学生生活、キャリア・就職等に関する支援を含む。）を行っている（今年度中の支援予定を含む。）障害学生をいいます。
- ・障害学生（支援障害学生）の内数として、「ア.1年次の学生数」、「イ.休学者数」、「ウ.最低在学年限を越えて在籍している障害学生数」をご記入下さい。

<2-1-1>障害学生数等(学科生)

(単位:人)

障害学生数 障害種別		①障害学生数 ※1 (支援障害学生数 ※2)			
		ア. ①のうち 1年次の学生数	イ. ①のうち 休学者数	ウ. ①のうち 最低在学年限を 越えて在籍して いる障害学生数	
視覚 障害	盲	()	()	()	()
	弱視	()	()	()	()
聴覚・ 言語障害	聾	()	()	()	()
	難聴	()	()	()	()
	言語障害のみ	()	()	()	()
肢体 不自由	上肢機能障害	()	()	()	()
	下肢機能障害	()	()	()	()
	上下肢機能障害	()	()	()	()
	他の機能障害 ※3	()	()	()	()
重複 ※4		()	()	()	()
病弱・虚弱(診断書有) ※5		()	()	()	()
発達障害 (診断書有) ※6	LD	()	()	()	()
	ADHD	()	()	()	()
	高機能自閉症等	()	()	()	()
その他 (診断書有) ※8		()	()	()	()
		()	()	()	()
		()	()	()	()
計		()	()	()	()
発達障害 (診断書無 ・配慮有) ※7	LD	()	()	()	()
	ADHD	()	()	()	()
	高機能自閉症等	()	()	()	()

・「発達障害（診断書無・配慮有）」には発達障害の医師の診断書はないが、発達障害があることが推察されることにより、実際に教育上の配慮を行っている学生数をご記入下さい。特別な支援を行っていない学生については計上しないで下さい。

・「病弱・虚弱（診断書有）」には医師の診断書がある学生の数をご記入下さい。
 ・「発達障害（診断書有）」には医師の診断書がある学生の数をご記入下さい。
 ・「その他（診断書有）」には視覚障害、聴覚・言語障害、肢体不自由、病弱・虚弱、重複及び発達障害に該当しない障害があり、医師の診断書がある学生の具体的な障害名と数値をご記入下さい。

(2) エ欄に、「①障害学生（支援障害学生）」の内訳として、「学科別の障害学生数（支援障害学生数）」をご記入ください。

学科(専攻)の分類(※9)は、学校基本調査の手引の学科系統分類表の「大分類」によります。

<2-2-1>学科別障害学生数(通学制)

(単位:人)

障害種別		エ. ①のうち学科別の障害学生数 ※1 (支援障害学生数 ※2)					
		人文	社会	教養	工業	農業	保健
視覚障害	盲	()	()	()	()	()	()
	弱視	()	()	()	()	()	()
聴覚・言語障害	聾	()	()	()	()	()	()
	難聴	()	()	()	()	()	()
	言語障害のみ	()	()	()	()	()	()
肢体不自由	上肢機能障害	()	()	()	()	()	()
	下肢機能障害	()	()	()	()	()	()
	上下肢機能障害	()	()	()	()	()	()
	他の機能障害 ※3	()	()	()	()	()	()
重複 ※4		()	()	()	()	()	()
病弱・虚弱(診断書有) ※5		()	()	()	()	()	()
発達障害(診断書有) ※6	LD	()	()	()	()	()	()
	ADHD	()	()	()	()	()	()
	高機能自閉症等	()	()	()	()	()	()
その他(診断書有) ※8		()	()	()	()	()	()
		()	()	()	()	()	()
		()	()	()	()	()	()
計		()	()	()	()	()	()
発達障害(診断書無・配慮有) ※7	LD	()	()	()	()	()	()
	ADHD	()	()	()	()	()	()
	高機能自閉症等	()	()	()	()	()	()

障害種別		エ. ①のうち学科別の障害学生数 ※1 (支援障害学生数 ※2)				
		商船	家政	教育	芸術	その他
視覚障害	盲	()	()	()	()	()
	弱視	()	()	()	()	()
聴覚・言語障害	聾	()	()	()	()	()
	難聴	()	()	()	()	()
	言語障害のみ	()	()	()	()	()
肢体不自由	上肢機能障害	()	()	()	()	()
	下肢機能障害	()	()	()	()	()
	上下肢機能障害	()	()	()	()	()
	他の機能障害 ※3	()	()	()	()	()
重複 ※4		()	()	()	()	()
病弱・虚弱(診断書有) ※5		()	()	()	()	()
発達障害(診断書有) ※6	LD	()	()	()	()	()
	ADHD	()	()	()	()	()
	高機能自閉症等	()	()	()	()	()
その他(診断書有) ※8		()	()	()	()	()
		()	()	()	()	()
		()	()	()	()	()
計		()	()	()	()	()
発達障害(診断書無・配慮有) ※7	LD	()	()	()	()	()
	ADHD	()	()	()	()	()
	高機能自閉症等	()	()	()	()	()

イ. 専攻科生

障害学生が在籍している場合にのみ回答

(1) ①欄に、平成20年5月1日現在の「障害学生数」をご記入下さい。

()には内数として「支援障害学生数」をご記入下さい。

- ・「支援障害学生」とは、学校に本人からの申し出があり、それに対して学校が何らかの支援（例：ノートテイク、手話通訳、点訳、定期試験の配慮等の授業保障。学内学生生活、キャリア・就職等に関する支援を含む。）を行っている（今年度中の支援予定を含む。）障害学生をいいます。
- ・障害学生（支援障害学生）の内数として、「ア.1年次の学生数」、「イ.休学者数」、「ウ.最低在学年限を越えて在籍している障害学生数」をご記入下さい。

<2-1-2>障害学生数等(専攻科生)

(単位:人)

障害学生数 障害種別		①障害学生数 ※1 (支援障害学生数 ※2)			
		ア. ①のうち 1年次の学生数	イ. ①のうち 休学者数	ウ. ①のうち 最低在学年限を 越えて在籍して いる障害学生数	
視覚 障害	盲	()	()		()
	弱視	()	()		()
聴覚・ 言語障害	聾	()	()		()
	難聴	()	()		()
	言語障害のみ	()	()		()
肢体 不自由	上肢機能障害	()	()		()
	下肢機能障害	()	()		()
	上下肢機能障害	()	()		()
	他の機能障害 ※3	()	()		()
重複 ※4		()	()		()
病弱・虚弱(診断書有) ※5		()	()		()
発達障害 (診断書有) ※6	LD	()	()		()
	ADHD	()	()		()
	高機能自閉症等	()	()		()
その他 (診断書有) ※8		()	()		()
		()	()		()
		()	()		()
計		()	()		()
発達障害 (診断書無 ・配慮有) ※7	LD	()	()		()
	ADHD	()	()		()
	高機能自閉症等	()	()		()

・「発達障害（診断書無・配慮有）」には発達障害の医師の診断書はないが、発達障害があることが推察されることにより、実際に教育上の配慮を行っている学生数をご記入下さい。特別な支援を行っていない学生については計上しないで下さい。

・「病弱・虚弱（診断書有）」には医師の診断書がある学生の数をご記入下さい。
 ・「発達障害（診断書有）」には医師の診断書がある学生の数をご記入下さい。
 ・「その他（診断書有）」には視覚障害、聴覚・言語障害、肢体不自由、病弱・虚弱、重複及び発達障害に該当しない障害があり、医師の診断書がある学生の具体的な障害名と数値をご記入下さい。

(2) エ欄に、「①障害学生（支援障害学生）」の内訳として、「学科別の障害学生数（支援障害学生数）」をご記入ください。

学科(専攻)の分類(※9)は、学校基本調査の手引の学科系統分類表の「大分類」によります。

<2-2>学科別障害学生数(専攻科生)

(単位:人)

障害種別		エ. ①のうち学科別の障害学生数 ※1 (支援障害学生数 ※2)					
		人文	社会	教養	工業	農業	保健
視覚障害	盲	()	()	()	()	()	()
	弱視	()	()	()	()	()	()
聴覚・言語障害	聾	()	()	()	()	()	()
	難聴	()	()	()	()	()	()
	言語障害のみ	()	()	()	()	()	()
肢体不自由	上肢機能障害	()	()	()	()	()	()
	下肢機能障害	()	()	()	()	()	()
	上下肢機能障害	()	()	()	()	()	()
	他の機能障害 ※3	()	()	()	()	()	()
重複 ※4		()	()	()	()	()	()
病弱・虚弱(診断書有) ※5		()	()	()	()	()	()
発達障害(診断書有) ※6	LD	()	()	()	()	()	()
	ADHD	()	()	()	()	()	()
	高機能自閉症等	()	()	()	()	()	()
その他(診断書有) ※8		()	()	()	()	()	()
		()	()	()	()	()	()
		()	()	()	()	()	()
計		()	()	()	()	()	()
発達障害(診断書無・配慮有) ※7	LD	()	()	()	()	()	()
	ADHD	()	()	()	()	()	()
	高機能自閉症等	()	()	()	()	()	()

障害種別		エ. ①のうち学科別の障害学生数 ※1 (支援障害学生数 ※2)				
		商船	家政	教育	芸術	その他
視覚障害	盲	()	()	()	()	()
	弱視	()	()	()	()	()
聴覚・言語障害	聾	()	()	()	()	()
	難聴	()	()	()	()	()
	言語障害のみ	()	()	()	()	()
肢体不自由	上肢機能障害	()	()	()	()	()
	下肢機能障害	()	()	()	()	()
	上下肢機能障害	()	()	()	()	()
	他の機能障害 ※3	()	()	()	()	()
重複 ※4		()	()	()	()	()
病弱・虚弱(診断書有) ※5		()	()	()	()	()
発達障害(診断書有) ※6	LD	()	()	()	()	()
	ADHD	()	()	()	()	()
	高機能自閉症等	()	()	()	()	()
その他(診断書有) ※8		()	()	()	()	()
		()	()	()	()	()
		()	()	()	()	()
計		()	()	()	()	()
発達障害(診断書無・配慮有) ※7	LD	()	()	()	()	()
	ADHD	()	()	()	()	()
	高機能自閉症等	()	()	()	()	()

3. 特別措置 受験者数・合格者数・入学者数

障害を理由とする特別措置
を行った場合に回答

- (1) 平成20年度入学者選抜（平成20年度入学者）において、障害のある者に対して特別措置を行った受験者、合格者、入学者数をご記入下さい。入学者数については障害別の内訳をご記入下さい。
- ・学科生のみ、内数として、「AO入試」、「推薦入試」及び「障害者特別入試」についてご記入下さい。
 - ・「急性の疾病」や「けが」など一過性のもので、その後に回復する見込みがある者に対して行った特別措置者数は、計上しないで下さい。
 - ・受験者数及び合格者数は延べ数を、入学者数は実数をご記入下さい。

<3-1>特別措置者数

(単位:人)

		特別措置による受験者・合格者・入学者数(障害学生数)				
		学科生			専攻科	計
		うち AO 入試	うち 推薦 入試 ※10	うち 障害者 特別 入試		
受験者数						
合格者数						
入学者数						
視覚障害	盲					
	弱視					
聴覚・ 言語障害	聾					
	難聴 言語障害のみ					
肢体 不自由	上肢機能障害					
	下肢機能障害					
	上下肢機能障害					
	他の機能障害 ※3					
重複 ※4						
病弱・虚弱(診断書有) ※5						
発達障害 (診断書有) ※6	LD					
	ADHD					
	高機能自閉症等					
その他 (診断書有) ※8						
計						
発達障害 (診断書無・ 配慮有)※7	LD					
	ADHD					
	高機能自閉症等					

- (2) 「発達障害（診断書有）」、「発達障害（診断書無・支援有）」及び「その他（診断書有）」の障害学生が特別措置を受けて受験した場合、「具体的な特別措置」欄に具体的な特別措置の内容をご記入下さい。

<3-2>具体的な特別措置

		特別措置を受けた受験者に対する、具体的な特別措置	
発達障害 (診断書有) ※6	LD		
	ADHD		
	高機能自閉症等		
その他 (診断書有) ※8			
発達障害 (診断書無 ・配慮有) ※7	LD		
	ADHD		
	高機能自閉症等		

4. 学内における支援

支援障害学生が在籍している場合にのみ回答

<1. 授業に関する支援 I>

- (1) 「2. 障害学生数・支援障害学生数」において、支援障害学生(※2)が在籍していると回答し、更に以下の「1~10」の支援を行っている場合、それぞれの支援について該当する支援者を「ア・教職員」、「イ・学生」または「ウ・外部」から選び、障害種別に「1」をご記入下さい。(複数回答可)
- ・支援者が学生で、謝金等を支給している場合は「①謝金等支給有り」に「1」、履修科目に位置付けて支援を行っている場合は「②履修科目に位置付けて支援」に「1」、無償で支援を行っている場合は「③謝金等支給は無い」に「1」をご記入下さい。なお、「②履修科目に位置付けて支援」に「1」をご記入した場合は、「履修科目名」及び「具体的な方法」をご記入下さい。
 - ・支援者が外部で、支援に対して報酬を支払っている場合は「④報酬支払い有り」に「1」、無償で支援を行っている場合は「⑤報酬支払いは無い」に「1」をご記入下さい。

<4-1>支援者

障害種別	視覚障害			聴覚・言語障害			肢体不自由			病弱・虚弱			発達障害			その他			イ. 学生		ウ. 外部	
	ア・教職員	イ・学生	ウ・外部	ア・教職員	イ・学生	ウ・外部	ア・教職員	イ・学生	ウ・外部	ア・教職員	イ・学生	ウ・外部	ア・教職員	イ・学生	ウ・外部	① 謝金等支給有り	② 履修科目に位置付けて支援	③ 謝金等支給は無い	④ 報酬支払い有り	⑤ 報酬支払いは無い		
																					① 謝金等支給有り	② 履修科目に位置付けて支援
1	点訳・墨訳																					
2	教材のテキストデータ化																					
3	教材の拡大																					
4	ガイドヘルプ																					
5	リーディングサービス																					
6	手話通訳																					
7	ノートテイク																					
8	パソコンテイク																					
9	ビデオ教材字幕付け																					
10	チューター又はティーチング・アシスタントの活用																					
11	その他(支援方法記入)																					



履修科目名	
具体的な方法	

<1. 授業に関する支援 II>

(2) 「2. 障害学生数・支援障害学生数」において、支援障害学生(※2)が在籍していると回答した場合、行っている授業支援について、障害種別に「1」をご記入下さい。

(複数回答可)

<4-2>授業支援

支援方法 ※11		障害種別					
		視覚障害	聴覚・言語障害	肢体不自由	病弱・虚弱	発達障害	その他
12	試験時間延長・別室受験						
13	解答方法配慮						
14	パソコンの持込使用許可						
15	注意事項等文書伝達						
16	使用教室配慮						
17	実技・実習配慮						
18	教室内座席配慮						
19	FM補聴器・マイク使用						
20	専用机・イス・スペース確保						
21	読み上げソフト使用						
22	講義内容録音許可						
23	休憩室の確保						
24	その他(支援方法記入)						
25	その他(支援方法記入)						

<2. 授業以外の支援 >

(3) 「授業に関する支援以外の支援」を行っている場合は、下表の「支援方法」欄に具体的な支援方法を入力の上、該当する障害種別に「1」をご記入ください。

<4-3>授業以外支援

支援方法		障害種別					
		視覚障害	聴覚・言語障害	肢体不自由	病弱・虚弱	発達障害	その他
26							
27							
28							

↓
発達障害については次頁に記入

<3. 発達障害のある学生への支援 >

支援発達障害学生が在籍している場合にのみ回答

「2. 障害学生数・支援障害学生数」において、発達障害（診断有）の支援障害学生又は、発達障害（診断無・配慮有）の学生が「在籍している」と回答した場合、下記ご回答ください。

(4) 発達障害のある学生への支援を主として担っている部署に「1」をご記入下さい。（複数回答可）

<4-4>発達障害支援部署

発達障害のある学生 支援部署		担っている部署に「1」
1	保健管理センター又は保健室	
2	学生相談室	
3	障害学生専門部署又はプロジェクト等（部署・プロジェクト等名記入）	
4	その他（学生課・教務課・キャリア支援センター等部署名記入）	
5	特に決まっていない	

(5) 発達障害のある学生に行っている支援に「1」をご記入下さい。（複数回答可）

<4-5>発達障害支援方法

発達障害のある学生 支援方法		行っている場合「1」
1	カウンセリング	
2	進路・就職指導	
3	発達障害支援センターとの連携	
4	特別支援学校との連携	
5	生活指導（食事、洗濯等）	
6	学習指導（履修方法、学習方法等）	
7	その他（支援方法記入）	
8	その他（支援方法記入）	

(6) 現在、発達障害のある学生への支援に関して感じている困難があれば、ご記入下さい。

5. 障害学生修学支援活動

障害学生の在籍の有無を問わず回答

障害学生支援に関する活動や取組（教職員に対する研修や、教職員・学生に対する啓発活動等）を行っている場合は、「1～8」の欄に「1」を記入し、さらに「1～4」についてはその内容について右の欄にご記入下さい。（複数回答可）

<5-1>活動・取組

障害学生支援に関する活動や取組		行っている場合「1」
1	関連する講義(ボランティア論)などの開講	
2	学生向け各種研修(ノートテイク・養成研修など)の実施	
3	教職員向け各種研修(FD研修、SD研修など)の実施	
4	各種イベント(障害体験講座、講演など)の実施	
5	障害学生と支援スタッフ(支援を行う学生など)に対する相談対応、懇談会等の実施	
6	支援マニュアルパンフレット等の作成配布	
7	ホームページで障害学生修学支援情報の公開	
8	入学式等の学内イベントでの障害学生修学支援についての情報提供	

→ 講義等の名称

→ 研修等の名称
 研修等の実施時期

→ 研修等の名称

→ イベントの名称

6. 卒業後の進路状況

平成19年度の学科卒業障害学生について回答

学科生で平成19年度に卒業した障害学生について、平成20年5月1日現在の進路状況についてご記入下さい。

- ・「①最高年次障害学生数」には、平成19年5月1日時点で最高年次に在籍していた障害学生数をご記入ください。
- ・「②平成19年度卒業の障害学生数」には、平成19年5月2日～平成20年3月31日までの間に卒業した障害学生数をご記入下さい。

<6-1>卒業後進路

(単位:人)

学科生 についてのみ回答		① 最高年次 障害学生数 5年次 H19年 5月1日 現在 ※12	② H19年度 卒業の (H20年3月 31日まで) 障害 学生数 ※13	③H19年度卒業(H20年3月31日まで)の障害学生の進路状況													
				A	B	C	D	E	就職者 (左記A～Eを除く) ※14	臨床 研修 医 (予定者を含む) ※15	専修 学校・外国 の学校 ・ 教育訓練 機関等 入学者 ・ ※16	社会 福祉施設 ・医療機 関入所 ※17	一時的 な仕事に 就いた者 ※18	左記 以外の者 ※19	死亡・ 不詳の者 ※20	計	左記 A～Eの うち ※21
				大学院 研究科	大学 学部	短期 大学 本科	専 攻 科	別 科									
視覚 障害	盲																
	弱視																
聴覚・ 言語障害	聾																
	難聴																
	言語障害のみ																
肢体 不自由	上肢機能障害																
	下肢機能障害																
	上下肢機能障害																
	他の機能障害※3																
重複 ※4																	
病弱・虚弱(診断書有)※5																	
発達障害 (診断書 有) ※6	LD																
	ADHD																
	高機能自閉症等																
その他 (診断書 有) ※8																	
計																	
発達障害 (診断書無 ・配慮有) ※7	LD																
	ADHD																
	高機能自閉症等																

7. 要望・ご意見等

- (1) 障害学生の修学支援に関して、課題と感じられておられること、お困りになっている事がありましたらご記入下さい。

<7-1>課題等

- (2) 障害学生に対して行っている支援内容が、障害学生以外の大学利用者や学外において活かすことができると感じておられることがあればご記入ください。

例：学外講演会におけるパソコンテイクの活用
公開講座出席のご高齢者に対する配慮

<7-2>学外活用

- (3) 日本学生支援機構の障害学生修学支援の取組について、ご意見・ご要望がありましたらご記入下さい。

<7-3>意見・要望

ご協力、誠にありがとうございました。